

【卒業式 式辞】

今年も厳しかった冬の寒さもいよいよ終わりを迎え、吹く風の中にも春のぬくもりを感じるこのできる今日の良き日、大阪府立日根野高等学校、第36回卒業証書授与式を挙行了いたしましたところ、ご多用中にも関わりませず、多くのご来賓、保護者の皆様方のご臨席を賜り、本当にありがとうございます。高い所からではございますが、教職員一同を代表して、厚く御礼申し上げます。

さて、ただいま卒業証書を授与いたしました、229名の卒業生に皆さん。卒業おめでとうございます。皆さんは、今日晴れて本校での3年間の行を終え、新しい世界に新たな一歩を進めることになります。思い起こせば3年前、この体育館で皆さんに入学のお祝いの言葉を述べていただいていたことがつい昨日のこのように思い出されます。

私はこの3年の間に、皆さんに「人生は一度きり」という言葉を何度か伝えたように思います。この言葉は皆さんもよく知っている、ハイブランド、シャネルを起こしたデザイナーの言葉としても有名です。ココ・シャネルはこの言葉に続けて、「困難にめげず、楽しみを見つけて前に進むべきだ」と述べています。困難はすべての人に例外なく存在します。時には心無い誹謗中傷や陰口に心穏やかにいられないこともあるでしょう。それでも日々の生活の中で喜びや楽しみを見つけ出し、目標をもって努力をし、前に進み続けることが大切なのだと思います。今日改めて皆さんに伝えましょう。あなたの人生はたった一度きりです。明るく楽しく、自分の信じる道を進んでいきましょう。

あなたは、何のためにこの世に生を受けたのか考えたことがありますか。皆さんは一人ひとり、例外なく天文学的な確率の中で命を授かることになり、18年の歳月を経て今に至ります。その授かった命一つ一つにはすべてに何かしらの意味や使命が必ずあります。

さて、皆さんはなんのために生まれてきたのでしょうか。20世紀最高の物理学者であるアインシュタインは「誰かの為に生きてこそ、人生には価値がある」と言っています。あなたの人生はだれのものでもなく、この世でたった一つのとても大切なものとなります。そして、その命に意味を持たせるためには、誰かのために何かをなすことが大切になってくると思います。これからの日々の中で、仕事で、プライベートで誰かのために何かをし、そしてそのことをこれらの人の記憶に残すことこそが人がこの世に生きる価値となるのだと思います。

「何のために生まれて何をして生きるのか、答えられないなんてそんなのは嫌だ」ここにいるほとんどの人が一度は歌ったことがあるのではないのでしょうか。アンパンマンのマーチにはとても大切な言葉がちりばめられています。18歳に成長した今、一度その歌詞を検索して、読み返してみてください。人の生きる喜びとは何なのかを改めて感じることはできるのではないかと思います。

皆さんは今年度、論理国語の授業で「舞姫」を題材として学びを行っていました。その中で、「愛情」と「友情」と「地位や経済力」この中でどれが一番大切でしょうかという議論をしているのを見学させてもらいました。もちろんそのすべてが人生において大切なのは言うまでもありません。お金に余裕がなければ、心豊かに日々を過ごすことは難しくなるでしょう。友達のいない人生は、これほどつまらない、味気ないものではありません。そして広い意味で愛情は、私は人として生きるために一番大切なものだと思っています。

いずれにしても、たった一度きりの人生の中で、人は幾度となく、何を選択するのか大きな決断を迫られることとなります。人生の選択において正解は存在しません。あなたたち、一人ひとりの思いを大切に、誠実に思いやりを持って生きていってほしいと願っています。

あなたたちのこれまでの人生は、いわば助走のようなものであると思います。そして、これから始まる人生の本番に向けて、より高く、より遠くに羽ばたけることを願っています。

これまでのいろいろと導いてくれた先生方、そして何より今日まで愛情をもって育ててくれたお父さん、お母さん、保護者の方への感謝の気持ちを忘れず、世の中のため、そして人のために何かをなす人となることを心より願って贈る言葉といたします。

最後になりましたが、保護者の皆様方には、これまでの3年間、本校へのご理解、ご支援に對しまして、心よりお礼申し上げます。本当にありがとうございました。

さあ、いよいよお別れです。皆さんのこれからの人生が幸運に恵まれ、笑顔があふれる日々が続くことを祈念して、式辞といたします。

令和7年2月28日 大阪府立日根野高等学校 校長 山本 好男